

5章 運転前・作業前点検・作業の準備のしかた



危険

- 点検・整備・調節を行なうときは、必ずエンジンを停止させ、クローラの歯止めをかけてから行なってください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は、注油・給油は絶対にしないでください。ヤケドをするおそれがあります。
- 燃料補給時は、くわえ煙草・裸火照明は絶対にしないでください。また燃料補給後は、燃料キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。守らないと火災の原因になります。
- 燃料パイプが破損していると、燃料漏れを起こすので、必ず点検してください。守らないと、火災を起こすおそれがあります。



警告

- 安全で快適な作業を行なうには、本機を使用する人が一日一回、作業前点検を行なうようにしてください。異常箇所は直ちに整備し、作業終了後も異常がないかチェックしてください。
- 点検整備は交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、車止めした上で行なってください。守らないと機械が転倒するなど事故を起こすおそれがあります。
- 運転・作業前の点検時にエンジンを始動して行なう場合は、閉め切った室内で行なわないでください。
- 運転・作業前点検をするときは、点検者以外の人（特に子供）を近づけないでください。



注意

- 点検・整備をするときは、マフラやエンジンなどの過熱部分が十分に冷めてから行なってください。守らないと、火傷を負うおそれがあります。
- 点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。守らないと、機械に巻き込まれて、傷害事故を起こすおそれがあります。

1. 作業者の体調・服装について

①体調について

作業を行なうときは、健康な状態で行なってください。過労・病気・薬物の影響、その他の理由で作業に集中できないときは、作業を行なわないでください。特に、お酒を飲んでいる・妊娠している・18才未満の人は作業を行なわないでください。

②服装について

- 操作レバーや機械部品に引っかからない、だぶつきのない服装をしてください。
- 安全靴などの滑り止めのついた靴を着用してください。
- ヘルメットを着用してください。
- 作業によっては、保護メガネ・マスク・手袋などの保護具を必ず着用してください。

※タオルをはち巻き・首巻き・腰タオルにして作業を行なわないでください。

5章 運転前・作業前点検のしかた

2. 点検のしかた

安全で快適な作業を行なうために、本機を使用する人が一日一回作業前の点検を以下の要領に従って行ってください。異常箇所は直ちに整備してください。また、作業中に異常を感じたら、すぐに点検・整備をしてください。

①本機の周りを回って見て	参考ページ
● クローラの接地面に亀裂、損傷、草の巻付き、堆積がありませんか	50
● クローラの張り状態は適正か	63
● 燃料の量と燃料漏れ、燃料パイプの損傷はありませんか	38,53,59
● オイルタンクの量と汚れ、油漏れはありませんか	55
● バッテリ電圧は正常ですか	36
● 各部の変形・損傷・汚れはありませんか	
● 車体各部の損傷、ボルトのゆるみはありませんか	

②エンジン周辺を見て	参考ページ
● エンジンオイルの量と汚れ、燃料漏れはありませんか	54
● パイプ、ホースの損傷はありませんか	59
● エアクリーナの汚れはありませんか	56
● Vベルトの張り不足や、損傷、摩耗はありませんか	60
● 吸気スクリーンに刈草くず、葉やゴミ等はありませんか	61
● 配線コードの被覆のはがれや接触部のゆるみはありませんか	59

③作業機（モア）関係	参考ページ
● ナイフの変形、損傷、取付ボルトのゆるみはありませんか	64
● 本機とのリンク部の変形、損傷、摩耗はありませんか	49
● Vベルトの張り不足や、損傷、摩耗はありませんか	61
● 油圧ホースに損傷、摩耗はありませんか	49

④エンジンを始動して見て	参考ページ
● 排気ガスの色、エンジン回転数は正常ですか	
● ランプ・メータ類の作動は正常ですか	30,31
● エンジン始動後の異音・振動はありませんか	

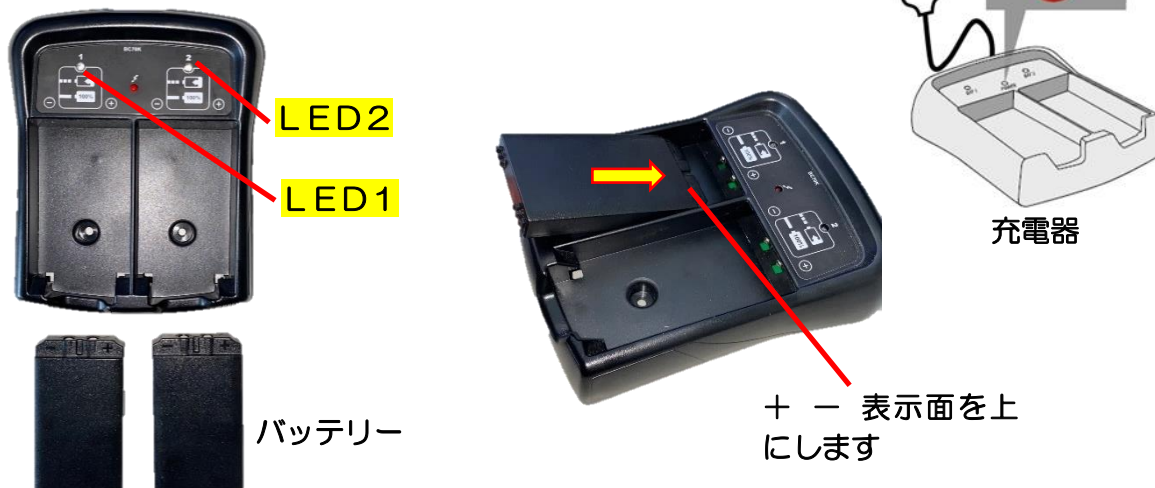
前回の点検で異常のあった箇所は必ず確認してください。

5章 作業の準備のしかた

3. リモコン送信機の充電

作業する際は、かならず前もってリモコン送信機のバッテリー充電を行ってください。
目安として、満充電でおよそ 16 時間連続使用できます。

- 充電器のプラグを家庭用の AC100V コンセントに接続します。
コンセントに接続すると中央の赤色ランプが点灯します。



- 充電器にバッテリーを取り付けます。
バッテリーを矢印の方向に押し込みながら下に押しつけます。2 個同時に充電出来ます。

- LED ランプの表示 バッテリーと取り付けると LED ランプが下記点灯します。
LED1・2 : 緑点滅 充電中 充電時間はおよそ 2.5 時間です。
緑点灯 充電完了
赤点滅・点灯 充電失敗

- 充電が完了したらリモコン送信機へ
バッテリーを取り付けます。
矢印の方向へ押し込みながら下へ押し付けて
取り付けます。



4. 燃料の給油



本機械は燃料ゲージがありません。
移動中や傾斜地での作業中に燃料が切れてしまうことが
ないようにこまめに残量を確認して早めに給油するようにしてください。

燃料満タンからの草刈運転時間の目安はおよそ 1.5 時間です。
1 時間毎に給油するようにしてください。

- 燃料キャップを外します。
- 53 ページを参照し、入れすぎに注意して自動車用無鉛ガソリンを給油してください。
- 給油後は燃料キャップを確実に締めてください。

6章 運転と作業のしかた

1. リモコン送信機の取り扱い注意点

- 作業の中断時等で、リモコン送信機から手を放すときは、必ずリモコン送信機のキースイッチをOFFにして電源を「OFF」にしてください。
- リモコン送信機を落下させると故障して本機の操作ができなくなる恐れがあります。必ずショルダーバンドをかけて使用してください。
- 操作時にレバー等に過大な力を加えると故障する恐れがあります。適切な力で操作を行ってください。
- リモコン送信機が故障した場合でも、分解は行わないでください。保障・修理を受けることができなくなります。

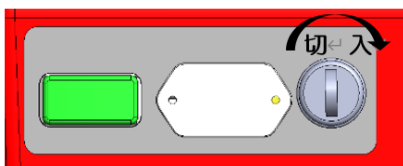
2. 電源の入れかた

本機とリモコン送信機それぞれの電源を入れる必要があります。

●本機



- ①本機の緊急停止スイッチが「運転」の位置になっていることを確認する。



- ②本機のキースイッチを時計回りに1段階回して電源を入れます。本機の赤色ランプが点滅します。

●リモコン送信機



- ①キースイッチを時計方向へ回して「I」の位置にします。
- ②緊急停止スイッチを押します。続けて、引き上げます。LEDが青色点滅して、しばらくすると点灯となりエンジン始動準備が整います。

3. 電源の切りかた、エンジン停止のしかた

エンジンは本機・リモコン送信機どちらかの電源を切ることで停止します。

作業終了時は本機とリモコン送信機それぞれの電源を切る必要があります。

●本機

- ①キースイッチを反時計回りに回して「切」の位置にするとランプが消灯して電源が切れます。エンジンが停止します。
- ②緊急時には緊急停止スイッチを押して電源を切ります。

●リモコン送信機

- ①緊急停止スイッチを押すと電源が切れます。併せてエンジンが停止します。その後、キースイッチを「O」位置にします。
- ②キースイッチを「O」の位置にすることで①同様に電源が切れます。

エンジン停止後はエンジン・マフラ付近等高温部には冷めるまで触らないでください。